

令和3年度
学校自己評価報告書

新潟医療福祉カレッジ

令和4年4月30日

学校自己評価 評価項目

1. 教育理念・目標・人材育成像等
2. 学校運営
3. 教育活動
4. 学修成果

介護福祉科

介護福祉士基礎学科

医療秘書科

社会福祉科、社会福祉専攻科

福祉心理科、福祉心理専攻科

5. 学生支援
6. 教育環境
7. 学生の受け入れ募集
8. 財務
9. 法令等の遵守
10. 社会貢献・地域貢献

1. 教育理念・目標・人材育成像等

(1) 自己評価結果

評価項目	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4
学校の理念・目的のもと、特色ある職業教育が行われているか	4
社会経済のニーズ等を踏まえた人材育成の方針が定められているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色などが、学生・保護者等に周知されているか	3
各学科の教育目標、人材育成像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1

(2) 現状

- ・本校は、高齢化社会の福祉・医療に貢献できる介護福祉士の養成、および専門職業人として必要な専門的知識・技術及び態度を有する有為な人材を育成することを目的としており、これを学則で規定している。教育理念として、「目標に向かって継続的に努力する精神力と学校生活・学校行事を通じて社会性、積極性、協調性を身につけ、自らの行動に責任のとれる誠実な人材を養成する」ことを掲げており、学生や保護者にはこれを校訓及び人材育成像として示している。また、建学の精神で「豊かな教養を身につけた幅広い思考のできる人材の育成」を掲げ、資格や技術を持つことと同時に、社会的常識と基本マナーを備えた職業人の育成を目指すことを教育方針としており、これを学生の手引きに明記し、学生や保護者に示している。
- ・専門職業人として必要な最新の知識や技能、及び態度を習得するため、本校教員による授業に加え、福祉施設や医療機関と連携した授業や実習、現任者（特別講師など）による授業、地域での活動など特色ある教育を行っている。
- ・各職業に求められる人材を育てるべく、学科ごとに人材育成像（卒業生像）を設定するとともに教育方針を掲げ、指導にあたっている。切実な介護人材不足に対しては、外国人留学生の介護福祉士も養成することにより、そのニーズに応えている。

(3) 今後の課題等

- ・特になし。学科ごとの人材育成像はデュプロマポリシーとして公開しているが、第三者、特に入学を検討している者にとって、分かり易いものであるかどうか、客観的に見直すことも必要である。

2. 学校運営

(1) 自己評価結果

評価項目	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか。また、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1

(2) 現状

- ・年度開始前に運営方針および事業計画を策定し、理事会にて報告、承認を得たうえで学校の運営を行っている。
- ・学内組織として学校運営会議などが学則に規定されており、この規定に基づき適切に学校を運営している。また、年度初めに校務分掌を作成し役割等を明確にしており、意思決定も含め有効に機能している。理事会や評議委員会は、法人全体の方針決定や、各校の健全な運営に関するチェック機能を有するなど、コンプライアンス体制が整備されている。
- ・人事、給与に関しては、法人の就業規則や各種規定に定められており、法人として、定期的に見直しを行う組織体制も整っている。
- ・法人による財務等の組織整備、学校統括者による学校予算の作成と管理、学校運営会議等による意思決定の仕組み等が整備されている。
- ・教育活動等に関する情報公開は、ホームページや学園だより、学校案内パンフレットなどにより積極的に行っている。

(3) 今後の課題等

- ・特になし

3. 教育活動

(1) 自己評価結果

評価項目	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
育成人材像や業界のニーズを踏まえた、学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	3
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
成績評価・単位認定・進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

(2) 現状

- ・教育理念や各学科の育成人材像、業界のニーズ等を踏まえ、カリキュラムの見直しや到達目標の設定を行い、その習得に必要な学習時間を確保している。
- ・国家資格を始めとした高度な資格や検定の合格を目指しつつ、実践力を身につけるための演習や実技、実習、企業等と連携した授業などを効果的に行えるよう、工夫している。
- ・成績評価、単位認定、進級や卒業判定の基準等は、学則や学生の手引きに明記されており、その判定方法も学内で明確になっている。
- ・職業教育を担う学校として就職先のニーズを満たすよう、これからも継続して業界関係者からの意見等をカリキュラムに反映していく必要がある。
- ・各分野の専任教員に加え、実習先や就職先など業界関係者の方を特別講師や非常勤講師として招き、最新の知識や実践的な技能を身に付けるよう取り組んでいる。

(3) 今後の課題等

- ・授業の質向上と確保のため、授業アンケートの項目やフィードバック方法の見直しは、定期的に行う必要がある。
- ・教員が専門分野に関する最新の知識や技能を身につける機会が乏しい。外部研修等への積極的な参加を促すなど、環境を整えていく必要がある。

4. 学修成果（介護福祉科）

(1) 自己評価結果

評価項目	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格取得率の向上が図られているか	3
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活動及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用しているか	3

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

(2) 現状

- ・就職に向けたガイダンスや研修行事、授業などを通して、就職課と連携しながら、学生の希望に応じた就職支援に取り組んでおり、就職率 100%を達成することができた。しかし、診断はないものの障害を抱えていると思われる学生の入学もあり、就職先に苦勞することもあった。今後もそういった学生の入学が予想されるため、より、就職課・現場との連携を高めていく必要性はある。
- ・介護福祉士、レクリエーションインストラクターなど仕事に直結した資格は 概ね取得出来ている。オンライン授業が主ではあったものの、少人数で、個人に合わせた対策授業を展開し、放課後などの補講を丁寧に行うことで学力の向上ができているため、今後もより個別の対応に力を入れていく必要がある。
- ・退学についてはクラスになじめずに、退学者が出てしまったが、担任制を無くすことで全体で教員自身の関わりを増やすことで退学率の低下につながった。関わる教員全員で情報共有を図るとともに、当事者意識を全員が持ち、学生を支えていく意識を今後も持っていきたい。
- ・実習先および就職先の協力により、在校生や卒業生の状況を掴むことができている。また、学校と卒業生とのネットワークも構築されており、得られた情報や評価を基に、教育内容の改善を行っている。
- ・今後は現場の方と協力して連携施設授業や地域活動演習の改善を図り、キャリア教育につなげていく必要がある。

(3) 今後の課題等

- ・日常的にコミュニケーションの機会や人とかかる機会を増やすことで、コミュニケーション力や協調性を向上し、現場で活躍できるようにキャリア教育に力を入れるとともに学生が夢を持って卒業後に社会で介護の魅力をもっと変えられるように活躍できる教育を目指していきたい。

4. 学修成果（介護福祉士基礎学科）

(1) 自己評価結果

評価項目	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格取得率の向上が図られているか	2
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活動及び評価を把握しているか	4
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用しているか	4

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

(2) 現状

- ・施設でアルバイトをしている学生も多くいるため、キャリア教育や働くことの意識などは高まっている。また、介護に対する認識や理解度も高い。
- ・介護福祉士の国家試験を受験したが、留学生ということもあり、厳しい結果であった。
- ・卒業後も新人研修のフォロー研修を開催し、卒業生のフォローをすると同時に授業内容にも改善を行っている。

(3) 今後の課題等

- ・留学生が多くいるため、学習面だけではなく、日本の風習や文化についても教育する必要がある。また、特に入学時は日本語レベルが低いのでサポートが必要である。
- ・介護の仕事は留学生にとってイメージしにくい仕事であるため、入学前に介護の仕事はどのような内容なのかしっかりと伝えていくことが大切である。
- ・国家試験の合格率を上げることが必要である。授業カリキュラムの変更も含め改善する予定である。

4. 学修成果（医療秘書科）

(1) 自己評価結果

評価項目	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	4
卒業生・在校生の社会的な活動及び評価を把握しているか	4
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用しているか	3

適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1

(2) 現状

- ・学生の希望に合った職種や勤務地を斡旋することが出来たため、卒業式前に就職内定率 100%を達成した。かつ、10 月から開始しているインターンシップ中の途中辞退者も 0 名であった。
- ・医療事務管理士、調剤事務管理士、介護事務管理士の取得率は 100%。診療報酬請求事務能力認定試験は、全国合格率 39.4%に対し、92.3%（2 名不合格）で高成績を収めることができた。
- ・今年度は 1 年生の退学者 1 名であった。入学前から本人が学びたい進路と異なっていたため、勉強に対するモチベーションが下がり退学となった。それ以外の学生は定期的な 1on1 を実施することで、教員と学生との信頼関係の築きや人間関係のトラブルも防げた。
- ・在校生に関しては、インターンシップ先のヒアリングを通じて、社会的活動や評価を概ね把握できている。卒業生に関しては、卒業生による就職ガイダンスの際に、実際の現場の声や、イフでの教育について話す場を設け、改善を図っている。

(3) 今後の課題等

- ・現場の声を活かした教育活動にシフトしていきたい。また、コミュニケーション力向上を目指し即戦力のある人材育成に力を入れていきたい。

4. 学修成果（社会福祉科、社会福祉専攻科）

(1) 自己評価結果

評価項目	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	4
卒業生・在校生の社会的な活動及び評価を把握しているか	4
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用しているか	3

適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1

(2) 現状

- ・クラス担任と就職課が連携し、学生の希望に応じた就職に向け取り組んでおり、当該年度を含めた直近3年間の就職率は100%である。
- ・社会福祉士国家試験の現役合格に向け、受験対策指導を体系立てて実施している。当該年度を含めた直近3年間の合格率は59.6%であり、全国平均29.9%を超える好成績を残すことができた。
- ・クラス担任を中心に、学生が教員と話しやすい環境をつくっており、学生の抱えている課題や心の悩みに応じた支援を行っている。当該年度を含めた直近3年間の延べ人数に対する退学率は5.4%である。
- ・現場実習の巡回指導などで施設の指導者から在校生の実習の様子や卒業生の働きぶりを聞く機会を得ている。
- ・卒業生とは在校時の担任を中心に良好な関係性を維持し、情報交換をしている。

(3) 今後の課題等

- ・卒業生の活動についての情報収集が、在校時の担任に依存している。また、卒業生のキャリア形成に関わるなどの活動が十分とはいえない。そのため、卒業後も引き続き卒業生と教員との関係性を継続し、情報交換を行ったり、卒業生の相談に応じるなど、学科としての体制づくりが必要である。

4. 学修成果（福祉心理科・福祉心理専攻科）

（1）自己評価結果

評価項目	評価
就職率の向上が図られているか	3
資格取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	4
卒業生・在校生の社会的な活動及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用しているか	3

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

（2）現状

- ・就職課の協力もあり、就職希望者は3月末までに就職を内定することができた。しかし、なかなか新しい物事に踏み切れないという当学科の学生の特性があり、積極的な就職活動が一般的な就活生より出遅れたという事実もある。学生の就職活動への動機づけをより高め、積極的な活動ができるよう心がけたい。
- ・今年度は退学者が発生しなかった。これは1on1ミーティングの実施により学生との意思疎通が今までよりも多く行うことが理由と考える。加えてコロナ対策のため実施したオンライン授業も学生の心理的負担（登校することの負担）を低減したと考える。検定についても、今年度はオンライン授業と対面授業の併用で、例年並みの合格率を上げることができた。
- ・卒業生や在校生の情報把握、キャリア形成については、就職先を学科で共有している。過去の就職事例を参考とし、就職課とともに就職年次生に対し適切な指導を行うことができている。

（3）今後の課題等

- ・今年度は退学率や資格取得でオンライン授業によるメリットを享受できたが、本来は対面授業によって同様の成果を挙げなければならない。当学科の課題である学生の人間関係スキル向上については、引き続き適切な指導ができるよう学科内で検討していきたい

5. 学生支援

(1) 自己評価結果

評価項目	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4

適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1

(2) 現状

- ・就職課とクラス担任が連携し、キャリア教育を意識した授業や就職支援活動を計画的に行ったことにより、就職斡旋希望者は100%就職をすることができた。個別の受験指導や求人斡旋も適切に行われていた。卒業生が過去に受験した企業等の情報の閲覧環境や面接練習・面接指導の体制も整っており、就職活動を行う学生にとって必要な支援体制が整っている。
- ・全学科、年間を通じて学生と定期的に面談をする機会を設けたことにより、学生と教員の関係性向上や日常的な相談事に耳を傾ける体制ができた。学生の課題を担任だけで解決するのではなく、内容によっては学科全体で共有し、チームとして対応することが、今後は、より大切になってくる。
- ・ほぼ全ての学生を対象に学費等の一部免除をするなど、学校独自の学費支援制度を設けて、経済的支援を行った。また、必要に応じて学費等の分納や延納の相談にも応じた。
- ・ボランティア活動の斡旋や、サークル活動費の補助などにより、課外活動を行う学生を支援している。
- ・学校や学科の方針をご理解いただくとともに、学校生活や学生の活動の様子などを共有する機会として新入生の保護者を対象とした個別面談を実施した。また、課題や悩み等を抱えている学生については、随時、担任より保護者へ連絡をとり、協力を得ながら学生を支援していた。
- ・福祉、介護分野においては、社会人教育を行う部署が、業界や社会人のニーズに応えるとともに、教務としても卒業生に対する研修を行っている。今後は、卒業生と直接かつ継続的につながることで、卒業後の支援をより充実させていきたい。

(3) 今後の課題等

- ・特になし

6. 教育環境

(1) 自己評価結果

評価項目	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設、インターンシップの場等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災に対する体制は整備されているか	4

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

(2) 現状

- ・介護実習室、入浴実習室、家政学実習室、医療事務実習室、パソコン実習室、図書室、多目的演習室など、教育を行う上で十分な施設、設備を備えており、オンライン授業を行うための高速ネットワーク環境も整っている。
- ・学生の出身地域や希望も考慮し、多くの福祉施設や病院などにご協力いただきながら、連携してインターンシップや実習等を行っている。
- ・各種防災設備を設置するとともに、避難訓練・消火訓練を実施し、教職員には防災マニュアルにて、災害時の行動指針を示している。

(3) 今後の課題等

- ・AEDの使用方法について、久しく講習会を実施していなかったが、次年度の開始にあたり全職員が使用できる状態にするため、4月1日に講習会を予定している。

7. 学生の受け入れ・募集

(1) 自己評価結果

評価項目	評価
学生募集活動は適切に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

(2) 現状

- ・社会が求める医療福祉分野の人材を育成し続けるため、学校の永続的な運営は重要な責務と考える。また、「専門学校を通し、医療、福祉分野で社会に貢献する人材の育成」「豊かな教養を身につけた幅広い思考の出来る人材の育成」を理念とし、学生が社会に貢献できるような人材育成・教育を行っている。

そういった理念や教育を知ってもらうための学生募集活動として、パンフレット、募集要項を毎年作成し、入学希望者への配布、説明を行っている。また県内外の高校等訪問により高校教員に対しても理解を深めてもらっている。更に、毎月オープンキャンパスを開催しており、学校・学科説明・体験実習・校舎見学・募集要項説明等を実施している。また、来校が難しい場合においても疑問や不安についての問合せができる環境を整え、理念や教育を理解してもらったうえで、入学を決めてもらっている。

- ・教育成果である各種資格検定取得状況や進路状況は、パンフレットや Web サイトで公開するとともに、オープンキャンパスや保護者説明会、高校訪問時の説明等で正確に伝えている。
- ・学納金は物価の変動状況と本校の収支計画を勘案し、理事会で決定している。

(3) 今後の課題等

- ・コロナ禍において進学をあきらめてしまう学生に対し、高等教育修学支援新制度や新潟県の奨学金など必要に応じた各種奨学金を早期に紹介し対応する。
内部進学者に対しても同様の対応を行う。
- ・デジタル化が進み、情報検索や進路研究の調べ方が変化している。学校の取り組みをいかにして多くの人に届けられるかが課題である。

8. 財務

(1) 自己評価結果

評価項目	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定していると言えるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適切に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

(2) 現状

- ・健全な財務状況となるよう中長期の収支計画を立てており、適切に執行されている。
- ・予算、収支計画は、事業計画に基づき作成された後、理事会及び評議員会の承認を得て予算の執行及び運用がなされている。また、月次単位で予算執行状況の確認を行っている。
- ・公認会計士による会計監査が1年を通して適切に実施されている。
- ・財産目録、貸借対照表、収支計算書及び事業報告書等の財務情報について、ホームページにて公開し、閲覧できるようにしている。

(3) 今後の課題

- ・安定的な入学生の確保に力を入れ、健全な財政基盤の継続に取り組んでいく。

9. 法令等の遵守

(1) 自己評価結果

評価項目	評価
法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に対し、その保護のための対策がとれているか	4
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

(2) 現状

- ・学校教育法などに定められている法令、設置基準の遵守について適切に行っている。また、申請や届出が必要な事項に関しては、遅延なく国や県など所轄官庁に提出している。
- ・個人情報の管理については、全教職員に周知徹底し厳格に行っており、学生などの個人情報を利用する場合には使用目的を明確に伝え、承諾を得たうえで取り扱っている。
- ・自己評価は毎年度行なっているおり、その結果をホームページで公開している。

(3) 今後の課題等

- ・特に問題無し。適切な対応を継続していく。

10. 社会貢献・地域貢献

(1) 自己評価結果

評価項目	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

(2) 現状

- ・例年、中学校の「総合的な学習の時間」等を活用した上級学校訪問を積極的に受け入れ、キャリア教育や職業観の育成等に協力している。また、地域の小学校での学童保育ボランティアや文化祭等への参加を通じて、地域貢献、社会貢献活動を行っている。新型コロナウイルスの影響で、過去に比べると、依頼や活動は少なかったが、感染防止に努めながら、できることは実施していた。
- ・前年度に続き、令和3年度も新型コロナウイルスの影響で、ボランティア活動は多くなかったが、本校は、ボランティア活動を推奨しており、例年、各種機関からの依頼も多い。担当教員を決め、積極的に学生に周知し、奨励していた。
- ・引き続き、新潟県立新潟テクノスクールより、公共職業訓練を受託した。

(3) 今後の課題等

- ・特になし